

令和5年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法臨床技能演習		演習	福林 秀幸・藤 信太郎・小林 正明	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
臨床場面を想定し、症状と検査結果から動作への影響や問題点の列挙を行い、適切な治療項目の選択を行うことができるようになるために、Paper patientを用いてグループに分かれて学ぶ。 OSCEは今までに習得してきた各技術を評価実習、総合臨床実習前後に行うことになるのでOSCEの必要性を知り、実際に患者様に触れて実技を行い技術の向上を図るための準備を行う。				
授業の到達目標				
症状や検査結果から適切な問題点の列挙と治療項目の選択ができるようになる。 OSCE実施に向けて必要性を理解することと、現時点での自分自身の技術を認識し向上のための指標とする。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション OSCEに必要な疾患について 運動器疾患①（事前学習）			
2	OSCEに必要な疾患について 運動器疾患①（発表） 運動器疾患②（事前学習）			
3	OSCEに必要な疾患について 運動器疾患②（発表） 中枢疾患①（事前学習）			
4	中枢疾患②（発表） OSCE概要説明 疾患における医療面接の進め方			
5	OSCE 実技①			
6	OSCE 実技②			
7	OSCE 実技③			
8	OSCE実技試験 1回目			
9	OSCE実技試験 1回目			
10	OSCE 実技④			
11	OSCE 実技⑤			
12	OSCE 実技⑥			
13	OSCE 実技⑦			
14	OSCE実技試験 2回目			
15	OSCE実技試験 2回目			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他	100%	2回の実技試験の合計にて判定		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特になし（必要なものは授業中に配布する）				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 第2版	才藤栄一 監修 金田嘉清 他編集		金原出版	
PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編	才藤栄一 監修 金田嘉清 他編集		金原出版	
自由記載				
備考				
実技試験の日程に関しては後期スケジュールをみて変更する可能性があります。（変更する場合は随時連絡します）				